

チャバネアオカメムシの発生状況（第13報）

令和8（2026）年8月20日

河内農業振興事務所

1 河内管内のフェロモントラップ誘殺状況について

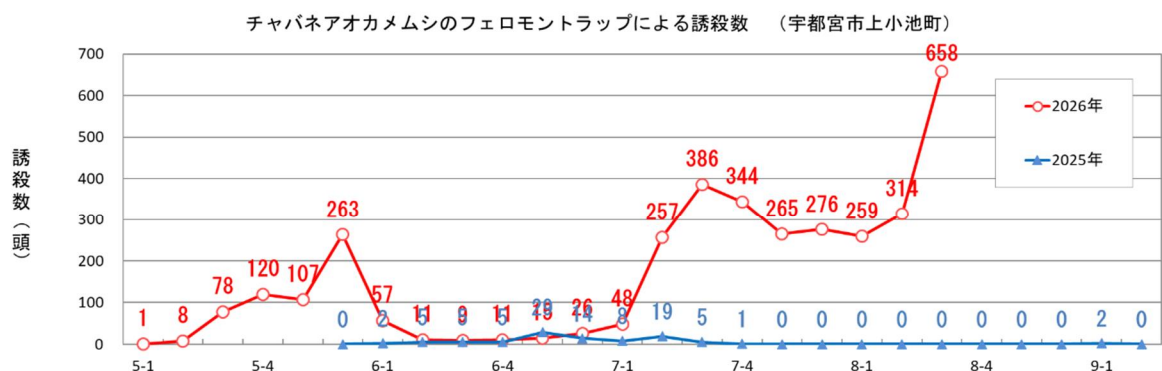
上小池町の誘殺数は多く推移していましたが、**台風15号通過後に急増**しました。また、瓦谷町、古賀志町も増加し、平年より多くなっています（表1）。本年は、果樹カメムシ類の越冬成虫量が平年より多く、8月以降当年成虫の飛来量が増加することが懸念されています。特に、台風の強風により山林から飛ばされ園地等に大量飛来する可能性があるため、台風通過後は園内外の観察をきめ細かく行い、飛来を確認した場合には薬剤防除を行いましょう。

なお、県内の病虫害発生予察情報については、県農業総合研究センターホームページ（<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/yosatsu.html>）で随時公開中です。また、栃木県防災LINEでも情報提供を行っています。

表1 チャバネアオカメムシの誘殺頭数（河内管内）

調査地点 調査時期	上小池町※1		瓦谷町※2			古賀志町※2		
	R 8	R 7	R 8	R 7	平年	R 8	R 7	平年
8月第1半旬	259	0	357	0	93	189	0	159
8月第2半旬	314	0	413	0	74	258	0	200
8月第3半旬	658 ↗	0	670 ↗	0	53	329 ↗	0	135

※1 河内農業振興事務所独自調査 ※2 県農業総合研究センター調べ ※3 矢印は平年比較



月 - 半旬 ※2025年の調査は5月第6半旬から調査開始

2 県内設置のフェロモントラップ誘殺状況について

県内各地の誘殺状況は表2のとおりです。芳賀町及び那須烏山市の誘殺数は平年より多く推移しており、特に那須烏山市は県内で最も多くなっています。

表2 チャバネアオカメムシ誘殺頭数（河内管内以外） ※矢印は平年比較

調査地点 調査時期	芳賀町		那須烏山市		矢板市		佐野市	
	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年
8月第1半旬	276	22	5,045	62	41	36	1	1
8月第2半旬	279	17	2,142	66	46	38	1	1
8月第3半旬	221 ↗	15	1,299 ↗	26	52 ↗	36	1 ↗	0

県農業総合研究センター
発生予察情報



栃木県防災 LINE
(LINEID: @756bxcgu)

